

distributed by cineQuanon

あなたの心臓。  
鼓動する、私の愛。

嫉妬、妄想、過剰な愛。その狭間で暴走する戦慄と驚愕のサイコ・スリラー。

# HEART

[ハート]

監督：チャールズ・マドガル 脚本：ジミー・マクガヴァン 出演：クリストファー・エクルストン／サスキア・リーヴス／リス・エヴァンス  
挿入歌：ディオヌヌ・ワーウィック「anyone who had a heart」 後援＝ブリティッシュ・カウンシル 配給＝シネカノン



「鼓動を聴けばわかるの。そこに息づいている心臓は過去の写真でも記憶でもない、血と肉を分けた私の一部だから」

こんな結末は予測できなかった！

ある「心臓」をめぐる、嫉妬、妄想、肉欲、復讐、そして過剰な愛の物語

情事を重ねる妻への嫉妬のあまり心臓発作を起こしたゲイリーは、ある若者の心臓移植によって一命をとりとめる。やがてゲイリーが自分の中に別の誰かが存在していると感じ始め、その心臓の出所に興味を持って若者の母親マリアと接触した時、出会うはずもなかった人たちの歯車が噛み合い始めた。他人の中で息づく最愛の子供の心臓に馳せるマリアの強すぎる愛が、ゲイリーたちを予想もしなかった事態に飲み込んでいく！

運命を狂わせるほどの感情のうねり——個性派キャストの競演

妻への激しい嫉妬から妄想に取り憑かれてしまうゲイリーを演じるクリストファー・エクルストンは、ダニー・ボイル、ウィンターボトム、クローネンバーグ監督らがこぞって起用している若手実力派NO.1。そして愛する者を失った深い悲しみを負い、強迫観念に捕らわれてゆくマリアには「バタフライ・キス」(ウィンターボトム監督)のサスキア・リーヴス。全身で表現される過剰なほどの愛と悲しみが、強く深く迫ってくる。冷酷無比にゲイリーを挑発する作家を演じるのは「ツイン・タウン」(ケヴィン・アレン監督)でアクの強い兄弟を演じたリス・エヴァンス。これら一癖も二癖もある個性派キャストが、一触即発で運命を狂わせていく様を完璧に演じきった。

英国きっての人気脚本家マクガヴァン最新作は、  
近年最高の衝撃的ブリティッシュ・サイコ・スリラー！

本作は、世界各国でセンセーションを巻き起こした「司祭」(アントニア・バード監督)、英国TVドラマ史上最大のヒットシリーズといわれる「心理探偵フィッツ」など、数々の代表作、話題作をもつ英国随一の人気脚本家ジミー・マクガヴァンの最新作。独特のエネルギー溢るストーリー展開によって、我々の心に潜む暗い情熱を秘めた願望や衝動がひとつの強いうねりとなり、喉元を掴まれるような驚愕のラストまで突き進む。近年最高の衝撃的ブリティッシュ・サイコ・スリラーが登場した！

ノンストップでみせるスタイリッシュなカメラワーク、ブラック・ユーモアに満ちた巧みな選曲

平原を横切る列車を空撮のカメラが追う、疾走感溢れるオープニングから全編を貫くスタイリッシュなカメラワーク。マクドガル監督の新人とは思えないダイナミックで完成度の高い演出が、驚愕のラストまで見る者を引き込んで離さない。そしてもうひとつの仕掛けは、ブラック・ユーモアに満ちた巧みな選曲。ある重要なシーンでオーヴァーラップするディオヌ・ワーウィックの「Anyone who had a heart」、アイズレー・ブラザーズの「this old heart of mine」など、いずれもストーリーとシンクロした絶妙な効果をあげ、耳について離れなくなってしまう。

HEART ハート 監督：チャールズ・マクドガル 脚本：ジミー・マクガヴァン 出演：クリストファー・エクルストン / サスキア・リーヴス / リス・エヴァンス 挿入歌：ディオヌ・ワーウィック「Anyone who had a heart」、アイズレー・ブラザーズ「this old heart of mine」他  
配給：シネカノン <http://www.t3.rim.or.jp/c-quanon> (イギリス/1998年/カラー/シネスコ/ドルビーSRD/84分)

9月中旬、衝撃のロードショー

特別鑑賞券1500円好評発売中(税込) 当日料金(税込)：一般1800円 / 学生1500円 / 会員1200円 / 小人・シニア1000円の他 劇場窓口および都内各プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあにてお求め下さい。

渋谷シネ・アミューズ

渋谷文化村通り東急本店前フォンティスビル4F  
03 (3496) 2888

銀座シネ・ラ・セット

JR有楽町駅中央口銀座側  
03 (3212) 3761

